

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公表番号】特表2019-514844(P2019-514844A)  
 【公表日】令和1年6月6日(2019.6.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2019-021  
 【出願番号】特願2018-546508(P2018-546508)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/18 (2006.01)  
 A 6 1 P 5/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 C 1 2 N 15/13 (2006.01)  
 C 0 7 K 16/40 (2006.01)  
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)  
 G 0 1 N 33/543 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06 Z N A  
 A 6 1 K 39/395 D  
 A 6 1 K 39/395 N  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 1/18  
 A 6 1 P 5/00  
 A 6 1 P 11/00  
 A 6 1 P 15/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 C 1 2 N 15/13  
 C 0 7 K 16/40  
 G 0 1 N 33/53 D  
 G 0 1 N 33/543 5 9 7

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月25日(2020.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

C D 7 3 を発現する腫瘍を有する対象における癌を治療する方法における使用のための医薬組成物であって、該方法が、該対象に、治療上有効な量のC D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤を投与することを含み、ここで、

( a ) C D 7 3 アンタゴニストが、約 1 5 0 m g - 約 1 6 0 0 m g の用量で投与され、かつ免疫 - 腫瘍学薬剤が、1 週間に 1 回、2 週間に 1 回、3 週間に 1 回、または 4 週間に 1 回約 5 0 m g - 約 5 0 0 m g の用量で投与される、または

( b ) C D 7 3 アンタゴニストが、1 週間に 1 回、または 2 週間に 1 回約 1 5 0 m g - 約 1 6 0 0 m g の用量で投与され、かつ免疫 - 腫瘍学薬剤が、2 週間に 1 回、3 週間に 1 回または 4 週間に 1 回約 5 0 m g - 約 5 0 0 m g の用量で投与される、医薬組成物。

【請求項 2】

( a ) C D 7 3 アンタゴニストが、1 週間に 1 回または 2 週間に 1 回約 6 0 0 - 1 2 0 0 m g の用量で投与され、かつ

( b ) 免疫 - 腫瘍学薬剤が 2 週間に 1 回約 2 4 0 m g または 4 週間に 1 回約 4 8 0 m g 投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が 1 - 1 0 サイクル投与され、ここで、各サイクルは 2 8 日の期間である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が同じ日に投与される、請求項 1 - 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が、静脈内投与用に製剤化される、請求項 1 - 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が、別個に製剤化される、請求項 1 - 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が、一緒に製剤化される、C D 7 3 アンタゴニストが、免疫 - 腫瘍学薬剤の投与の前に投与される、C D 7 3 アンタゴニストが、免疫 - 腫瘍学薬剤の投与の後に投与される、または C D 7 3 アンタゴニストおよび免疫 - 腫瘍学薬剤が、同時に投与される、請求項 1 - 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

癌が、C D 7 3 が腫瘍細胞の膜に発現される癌である、請求項 1 - 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

癌が腫瘍を含み、かつ前記腫瘍が、前記免疫 - 腫瘍学薬剤の標的を発現する腫瘍浸潤リンパ球 ( T I L ) を含む、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記癌または腫瘍が、肺腺癌、甲状腺癌腫、膵臓腺癌、子宮内膜癌腫、結腸腺癌、肺扁平上皮細胞癌腫、頭頸部扁平上皮細胞癌腫および卵巣腺癌からなる群から選択される、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記治療が、腫瘍サイズの低減、転移病変数の経時的な低減、完全な応答、部分的な応答および疾患の安定から選択される少なくとも 1 つの治療効果をもたらす、請求項 1 - 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記 C D 7 3 アンタゴニストが、

( a ) それぞれ、配列番号 5、6 および 7 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 9、10 および 11 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

( b ) それぞれ、配列番号 5、6 および 7 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 13、14 および 15 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 お

よび C D R 3 配列、

(c) それぞれ、配列番号 17、18 および 19 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 21、22 および 23 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(d) それぞれ、配列番号 17、18 および 19 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 25、26 および 27 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(e) それぞれ、配列番号 17、18 および 19 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 29、30 および 31 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(f) それぞれ、配列番号 33、34 および 35 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 37、38 および 39 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(g) それぞれ、配列番号 41、42 および 43 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 45、46 および 47 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(h) それぞれ、配列番号 41、42 および 43 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 49、50 および 51 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(i) それぞれ、配列番号 53、54 および 55 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 57、58 および 59 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(j) それぞれ、配列番号 61、62 および 63 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 65、66 および 67 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(k) それぞれ、配列番号 69、70 および 71 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 73、74 および 75 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(l) それぞれ、配列番号 69、70 および 71 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 77、78 および 79 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、

(m) それぞれ、配列番号 81、82 および 83 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 85、86 および 87 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、または

(n) それぞれ、配列番号 89、90 および 91 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 93、94 および 95 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列

を含む抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分である、請求項 1 から 1 1 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

前記抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分が、

(a) それぞれ、配列番号 5、6 および 7 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 9、10 および 11 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列、または

(b) それぞれ、配列番号 5、6 および 7 を含む重鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列ならびにそれぞれ、配列番号 13、14 および 15 を含む軽鎖 C D R 1、C D R 2 および C D R 3 配列

を含む、請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

前記抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分が、それぞれ、

- ( a ) 配列番号 4 および 8 ;
- ( b ) 配列番号 4 および 1 2 ;
- ( c ) 配列番号 1 6 および 2 0 ;
- ( d ) 配列番号 1 6 および 2 4 ;
- ( e ) 配列番号 1 6 および 2 8 ;
- ( f ) 配列番号 3 2 および 3 6 ;
- ( g ) 配列番号 4 0 および 4 4 ;
- ( h ) 配列番号 4 0 および 4 8 ;
- ( i ) 配列番号 5 2 および 5 6 ;
- ( j ) 配列番号 6 0 および 6 4 ;
- ( k ) 配列番号 6 8 および 7 2 ;
- ( l ) 配列番号 6 8 および 7 6 ;
- ( m ) 配列番号 8 0 および 8 4 ;
- ( n ) 配列番号 8 8 および 9 2 ;
- ( o ) 配列番号 1 3 5 および 8 ; または
- ( p ) 配列番号 1 3 5 および 1 2

を含む重鎖および軽鎖可変領域アミノ酸配列を含む、請求項 1 1 - 1 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 1 5】**

抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分が、配列番号 1 3 5 に記載のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域および配列番号 8 に記載のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域を含む、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

**【請求項 1 6】**

抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分が、配列番号 1 3 5 に記載のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域および配列番号 1 2 に記載のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域を含む、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

**【請求項 1 7】**

抗 C D 7 3 抗体が、I g G 2 ヒンジおよび I g G 2 C H 1 ドメインを含む重鎖定常領域を含む、請求項 1 - 1 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 1 8】**

抗 C D 7 3 抗体またはその抗原結合部分が、

- ( a ) 配列番号 1 0 0 および 1 0 1 ;
- ( b ) 配列番号 1 0 0 および 1 0 2 ;
- ( c ) 配列番号 1 0 3 および 1 0 4 ;
- ( d ) 配列番号 1 0 3 および 1 0 5 ;
- ( e ) 配列番号 1 0 3 および 1 0 6 ;
- ( f ) 配列番号 1 0 7 および 1 0 8 ;
- ( g ) 配列番号 1 0 9 および 1 1 0 ;
- ( h ) 配列番号 1 0 9 および 1 1 1 ;
- ( i ) 配列番号 1 1 2 および 1 1 3 ;
- ( j ) 配列番号 1 1 4 および 1 1 5 ;
- ( k ) 配列番号 1 1 6 および 1 1 7 ;
- ( l ) 配列番号 1 1 6 および 1 1 8 ;
- ( m ) 配列番号 1 1 9 および 1 2 0 ;
- ( n ) 配列番号 1 2 1 および 1 2 2 ;
- ( o ) 配列番号 1 3 3 および 1 0 1 ; または
- ( p ) 配列番号 1 3 3 および 1 0 2 ;

をそれぞれ含む重鎖および軽鎖アミノ酸配列を含む、請求項 1 1 - 1 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項 1 9】**

前記抗CD73抗体が、配列番号133または189に記載のアミノ酸配列を含む重鎖および配列番号101に記載のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項18に記載の医薬組成物。

【請求項20】

前記抗CD73抗体が、配列番号133または189に記載のアミノ酸配列を含む重鎖および配列番号102に記載のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項18に記載の医薬組成物。

【請求項21】

前記免疫-腫瘍学薬剤が、PD-1アンタゴニスト、PD-L1アンタゴニスト、CTLA-4アンタゴニストおよびLAG-3アンタゴニストからなる群から選択される、請求項1-20のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項22】

前記免疫-腫瘍学薬剤が、抗体またはその抗原結合部分である、請求項21に記載の方法。

【請求項23】

免疫-腫瘍学薬剤が、抗PD-1抗体またはその抗原結合部分である、請求項22に記載の医薬組成物。

【請求項24】

抗PD-1抗体またはその抗原結合部分が、それぞれ、配列番号383、384、および385を含む重鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列ならびにそれぞれ、配列番号386、387、および388を含む軽鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列を含む、請求項23に記載の医薬組成物。

【請求項25】

抗PD-1抗体またはその抗原結合部分が、それぞれ、配列番号381および382に記載される重鎖および軽鎖可変領域配列を含む、請求項24に記載の方法。

【請求項26】

CD73アンタゴニストが、それぞれ、配列番号5、6、および7を含む重鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列ならびにそれぞれ、配列番号9、10、および11を含む軽鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列を含む抗CD73抗体またはその抗原結合部分であり、  
免疫-腫瘍学薬剤が、それぞれ、配列番号383-385を含む重鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列ならびにそれぞれ、配列番号386-388を含む軽鎖CDR1、CDR2およびCDR3配列を含む抗PD-1抗体またはその抗原結合部分であり、かつ  
CD73アンタゴニストが、1週間に1回または2週間に1回約600-1200mgの用量で投与され、かつ免疫-腫瘍学薬剤が、2週間に1回約240mgまたは4週間に1回約480mgで投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項27】

前記抗CD73抗体またはその抗原結合部分が、以下の特性：

(1) 例えば、BIACORE（登録商標）SPR分析によって測定される場合、例えば、10nM以下（例えば、0.01nM~10nM）の $K_D$ で、ヒトCD73、例えば、ビーズ結合型（可溶性）ヒト二量体ヒトCD73アイソフォーム1および2と結合すること、

(2) 例えば、1nM以下（例えば、0.01nM~1nM）の $EC_{50}$ で、膜結合型ヒトCD73と結合すること、

(3) 例えば、10nM以下（例えば、0.01nM~10nM）の $EC_{50}$ で、カニクイザルCD73と結合すること、例えば、膜結合型カニクイザルCD73と結合すること、

(4) 例えば、10nM以下の $EC_{50}$ で、ヒトCD73酵素活性を阻害すること、

(5) 例えば、10nM以下の $EC_{50}$ で、カニクイザルCD73酵素活性を阻害すること、

(6) 10 nM以下のEC50で、Ca1u6細胞における内因性(細胞性)ヒトCD73酵素活性を阻害すること、

(7) インビボでヒトCD73酵素活性を阻害すること、

(8) 例えば、1時間未満、30分未満もしくは10分未満の $T_{1/2}$ および/または少なくとも70%、80%もしくは90%の $Y_{max}$ での細胞への内部移行、例えば、抗体媒介性(または依存性)CD73内部移行、

(9) ヒトCD73上のコンホメーションエピトープ、例えば、アミノ酸残基FTKVQQIRRAEPNVL L L D A(配列番号96)および/またはLYLPYKVL P V G D E V V G(配列番号97)のすべてまたは一部分を含む、アミノ酸配列(配列番号1)内の不連続なエピトープと結合すること、

(10) ヒトCD73との結合について、CD73.4-1、CD73.4-2、CD73.3、11F11-1、11F11-2、4C3-1、4C3-2、4C3-3、4D4、10D2-1、10D2-2、11A6、24H2、5F8-1、5F8-2、6E11および/または7A11と、いずれかの方向または両方の方向で、競合すること、および

(11) X線結晶学によって判定される場合、CD73.4と類似のパターンで、ヒトCD73と相互作用すること

のうちの一種または複数を示す、請求項11-26のいずれか一項に記載の医薬組成物。

**【請求項28】**

ヒト患者における癌を治療するためのキットであって、

(a) 配列番号135に記載される配列を有する重鎖可変領域のCDR1、CDR2およびCDR3ドメインならびに配列番号8または12に記載される配列を有する軽鎖可変領域のCDR1、CDR2およびCDR3ドメインを含む、ある用量の抗CD73抗体、

(b) 免疫-腫瘍学薬剤であって、配列番号381に記載される配列を有する重鎖可変領域のCDR1、CDR2およびCDR3ドメインならびに配列番号382に記載される配列を有する軽鎖可変領域のCDR1、CDR2およびCDR3ドメインを含む、抗PD-1抗体である、ある用量の免疫-腫瘍学薬剤、ならびに

(c) 請求項1-26のいずれか一項に記載の医薬組成物において前記抗CD73抗体および免疫-腫瘍学薬剤を使用するための説明書

を含む、キット。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0217

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0217】**

特定の実施形態では、フレームワーク置換が、本明細書に記載される抗CD73抗体の重鎖可変領域の25位(11F11の...RLSCATSGFTF...)(配列番号469)に導入され得る(例えば、保存的置換、例えば、SまたはAへの)。例えば、この位置におけるアミノ酸がTである場合、AまたはSへの置換が導入され得、この位置におけるアミノ酸がAである場合、SまたはTへの置換が導入され得、この位置におけるアミノ酸がSである場合、TまたはAへの置換が導入され得る。抗体24H2、4D4、10D2、6E11、7A11、11A6および4C3は、この位置にAを有し、11F11は、この位置にTを有し、73.5、73.7および73.9は、この位置にSを有する。

**【手続補正3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0218

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0218】**

同様に、特定の実施形態では、フレームワーク置換が、重鎖可変領域のアミノ酸94位 (11F11の...AEDTAVYYCAR...) (配列番号470) に導入され得る (例えば、VからLまたはLからV)。例えば、抗体11F11、73.3-73.10、24H2、4D4、5F8および10D2は、この位置にVを有し、6E11、7A11、11A6および4C3は、この位置にLを有する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0219

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0219】

特定の実施形態では、アミノ酸置換は、本明細書に開示される抗CD73抗体の重鎖可変領域CDR2に行われてもよい。例えば、52位のアミノ酸(11F11の...WVAVILYDGSN...) (配列番号471) が、Wと置換され得るか、またはこの位置におけるアミノ酸が、Wである場合、アミノ酸は、Lと置換され得る(抗体11F11および73.4-73.7は、この位置にLを有し、抗体73.8~73.10、24H2および4D4は、この位置にWを有する)。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0220

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0220】

同様に、特定の実施形態では、54位のアミノ酸(11F11の...VILYDGSNKYY...) (配列番号472) は、SもしくはEと置換され得るか、またはこの位置におけるアミノ酸が、Sである場合、アミノ酸は、Eと置換され得る。抗体11F11、73.4、73.5、24H2、10D2および5F8は、この位置にGを有し、抗体73.6~73.9、6E11、7A11、4C3および73.3は、この位置にSを有し、抗体73.10および4D4は、この位置にEを有する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0545

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0545】

実施例2：可変領域におけるアミノ酸置換およびアイソタイプ変異

抗体11F11のVH領域のフレームワーク領域は、以下のアミノ酸残基における突然変異のうちの一つまたは複数を導入することによって、突然変異させた(周囲のアミノ酸を示し、突然変異されたアミノ酸を下線で示す)：T25(フレームワーク突然変異；...RLSCATSGFTF...) (配列番号469)、L52(CDR2突然変異；...WVAVILYDGSN...) (配列番号471)、G54(CDR2突然変異；...VILYDGSNKYY...) (配列番号472) およびV94(フレームワーク突然変異；...AEDTAVYYCAR...) (配列番号470)。コンストラクトの名称およびそれらのそれぞれにおける置換は、表8に記載される。

專利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	<a href="#">JP2019514844A5</a>	公开(公告)日	2020-04-09
申请号	JP2018546508	申请日	2017-03-03
[标]申请(专利权)人(译)	百时美施贵宝公司		
申请(专利权)人(译)	布里斯托尔 - 迈尔斯宝公司		
[标]发明人	ブライアンシーバーンハート アランジェイコーマン ニルスロンバーグ アーロンピーヤムニウク モハンスリニバサン カーラエイヘニング ミンレイ エマヌエラセガ アンジェラグッドイナフ マリアジュアクンケル グオドンチェン ジョンエスサック マーティンジェイコーベット ジョセフィーマイヤーズジュニア リアンシュヴァイツァー サンドラブイハッチャー ハイチュンホアン ピンピンジャン		
发明人	ブライアン・シー・バーンハート アラン・ジェイ・コーマン ニルス・ロンバーグ アーロン・ピー・ヤムニウク モハン・スリニバサン カーラ・エイ・ヘニング ミン・レイ エマヌエラ・セガ アンジェラ・グッドイナフ マリア・ジュア・クンケル グオドン・チェン ジョン・エス・サック リチャード・ワイ・ホアン マーティン・ジェイ・コーベット ジョセフ・イー・マイヤーズ・ジュニア リアン・シュヴァイツァー サンドラ・ブイ・ハッチャー レイチェル・アルトゥラ ハイチュン・ホアン ピンピン・ジャン エドワード・ジェイ・ヒルト マイケル・ネイサン・ヘドリック		
IPC分类号	A61K45/06 A61K39/395 A61P1/04 A61P1/18 A61P5/00 A61P11/00 A61P15/00 A61P35/00 A61P43/00 C12N15/13 C07K16/40 G01N33/53 G01N33/543		

CPC分类号	A61K2039/507 A61P1/04 A61P1/18 A61P5/00 A61P11/00 A61P15/00 A61P35/00 A61P43/00 C07K16/2818 C07K16/2896 C07K2299/00 C07K2317/21 C07K2317/34 C07K2317/52 C07K2317/54 C07K2317/55 C07K2317/56 C07K2317/76 C07K2317/77 C07K2317/90 C07K2317/92 C07K2317/94 A61K9/0019
FI分类号	A61K45/06.ZNA A61K39/395.D A61K39/395.N A61P1/04 A61P1/18 A61P5/00 A61P11/00 A61P15/00 A61P35/00 A61P43/00.121 C12N15/13 C07K16/40 G01N33/53.D G01N33/543.597
F-TERM分类号	4C084/AA20 4C084/MA66 4C084/NA05 4C084/NA14 4C084/ZA361 4C084/ZA591 4C084/ZA661 4C084/ZA811 4C084/ZB261 4C084/ZC751 4C085/AA13 4C085/AA14 4C085/AA16 4C085/BB36 4C085/CC22 4C085/CC23 4C085/EE03 4C085/GG02 4C085/GG03 4C085/GG04 4C085/GG06 4H045/AA11 4H045/AA20 4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/BA41 4H045/DA76 4H045/EA20 4H045/EA28 4H045/FA72 4H045/FA74 4H045/GA26
代理人(译)	阿依鸭毛 富田健二
优先权	62/305378 2016-03-08 US 62/431987 2016-12-09 US 62/341220 2016-05-25 US 62/363703 2016-07-18 US 62/303985 2016-03-04 US
其他公开文献	JP2019514844A

摘要(译)

提供了使用抗CD73抗体与免疫肿瘤剂例如抗PD-1抗体组合的临床治疗肿瘤(例如晚期实体瘤)的方法。